
永遠の想い

瑠利

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

永遠の想い

【Nコード】

N2052C

【作者名】

瑠利

【あらすじ】

薫と俊之は家が近く仲がいい！薫はいつもと変わらぬ平凡な日々を送っていた。ところが薫に想いを伝えるため突然の告白をした俊之。突然の告白とともに薫の体にある異変が。薫と俊之の未来はどうなるのか！？

第1話 同じ時間

「五味、おはよ〜!!」

「おはよ!」

いつもと変わらず同じ朝。

薫と俊之はいつもと同じように『おはよ』と言葉を交して一緒に駅に向かう。

三谷 薫

去年私立中学に入学した中学2年生。

中2になってからもう一ヶ月がたつ。

新しい友達もたくさん出来て楽しい毎日を送っている。

俊之とは家が近く朝はなぜかいつも同じ時間に家を出て一緒に駅に向かう。俊之は大学生で塾の先生をしている。俊之の授業は解りやすくテスト前には塾で教えてもらっている。

塾のある日は火曜日と木曜日。

塾へいくのは面倒だがいかなないと日曜日に振り替え授業を受けさせられる。私はそんな日々をずっと送っていた。

第2話 呼び出し

今日は火曜日。めんどくさいが塾がある日。

4日前からテスト2週間前なので部活はない。

3:10

教室で友達と話していると愛がきた。愛とはクラスが違っけど仲はいい。

塾が同じなのでいつも一緒に塾へいつている。

「薫迎えにきたよ!!」

「あっうん今行く!!」

素早くバックをとって塾へ向かう。

4 : 0 0

塾にはいつもは4 : 10から4 : 30の間に塾に着くが今週と来週とテストの間は部活がないので塾に早く着く。

「愛、今日早く着きすぎたね。」

「別によくない！！早く来れば塾で宿題出来るし！」

「だってあたし宿題やったもん！」

「あたしやってないもん！でもめずらいくない！薫がちゃんと宿題やってくるなんて。」

「あたしは今度からちゃんと宿題をやるってきめたの！」

「ふうん。あたしは気分でやる。」

「そっか」

：

こういふ会話を続けていたら俊之がきた。

「三谷、ちょっといいか。」

私は何を言われるか怖かった。

<もしかして今の話し聞いてた?????それとも学校のこと?????
???それとも個人面談!!!>

とも思った。

そして連れていかれた場所は面談などをする小さな部屋だった。

薫は少し緊張気味でその部屋に入っていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2052c/>

永遠の想い

2010年10月17日01時58分発行